

歯科口腔外科のご紹介

歯科口腔外科 医師

大淵 真彦

平成26年4月より赴任しました 歯科口腔外科の大淵真彦です。前任者の 畠山先生の異動に伴い、後任として秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科より参りました。

今回は、初めての秋田労災病院通信ということで、簡単ではありますが自己紹介と秋田労災病院歯科口腔外科の紹介をさせていただきます。

私は秋田市で高校までを過ごし、歯科医師免許取得後は市民病院の口腔外科で研修医を修了し、秋田に戻ってからは秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科での約5年間勤務を経て現在に至ります。一昨年には日本口腔外科学会の認定医を取得し、口腔外科のイロハぐらいはわかってきたかなと思っています。

当科は歯科口腔外科ということで、顎顔面領域の疾患に対して診察を行っています。実は、歯の治療だけではないのです。詳細は、病院のホームページにも掲載していますが、埋伏智歯(親知らず)の抜歯、嚢胞や腫瘍、外傷、炎症、口腔粘膜疾患や顎関節疾患など多岐にわたります。口腔癌や口唇口蓋裂などの高度な治療技術を要する疾患などは、秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科の指導医などと診察にあたります。

二次医療機関の特性上、これらの疾患に関して近隣の開業医の先生方からご紹介いただき、治療を行っています。必要に応じて入院下での治療も行います。

近年では、口腔の状態が全身への影響を及ぼすことが指摘されており、一層の医科歯科連携の重要性が増してきています。その意味で、歯科口腔外科を併設する秋田労災病院の役割は重要になってくると考えています。

顎顔面領域でのトラブルがありましたら、まずは当科へご相談ください。